

議長／皆さんおはようございます。

ただいまより令和8年6月武雄市議会定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

市長から提出されました、第37号議案から第41号議案までの5議案と報告8件を一括上程いたします。

日程第1．会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。

杉原議会運営委員長

杉原議会運営委員長／おはようございます。

令和8年6月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、5月29日、議会運営委員会を開催し、協議をいたしました。

この結果について御報告を申し上げます。

議長から諮問がありました事項は、第1．会期及び会期日程について、第2．付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第3．一般質問の質問順序について、以上3項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、事件議案1件、予算議案4件、報告事項8件の計13件でございます。

そのほかとして、武雄市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が予定されております。

次に、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございます。

まず、審議の順序は議案番号順に行い、第38号議案 令和8年度武雄市一般会計補正予算(第2回)につきましても、所管の常任委員会に分割して付託、その他の議案につきましても、所管の常任委員会に付託することで意見の一致を見ました。

次に、一般質問でございます。

13名の議員から40項目の通告がなされており、質問順序の抽選結果はデータ配付のとおりでございます。

6月8日、11日、12日、15日の4日間の日程とし、抽選結果の順に、8日は4名、11日、12日、15日は、それぞれ3名ずつ行うこととして、いずれも午前9時開議とすることと決定をいたしました。

質問時間につきましては、答弁を含めて60分であります。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は本日1日から6月22日までの22日間が適当である旨、決定をいたしました。

なお、日程等の詳細については、データ配付のとおりです。

答申は以上でございます。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日1日から22日までの22日間としたいと思います。

これに御異議ございませんか。

> 「異議なし」の声

御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日から22日までの22日間とすることに決定をいたしました。

日程第2．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第88条の規定により、2番山口真哉議員、5番福田議員、8番毛利議員、以上の3名を指名いたします。

日程第3．議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告につきましては、データ配付をしておりますので、それをもって報告にかえさせていただきます。

日程第4．市長の提案事項に関する説明を求めます。

小松市長

小松市長／おはようございます。

武雄市議会定例会の開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

治水対策・防災についてであります。

本市を含む九州北部地域は、間もなく梅雨入りを迎え、本格的な出水期に入ります。

大雨による被害を二度と起こさないため、治水対策を最重要施策として引き続き強力で推進してまいります。

六角川流域の治水対策については、令和5年3月に九州で初めて国から特定都市河川の指定を受けたことで、流域治水の協議が大きく加速しました。

これにより、昨年3月には六角川流域水害対策計画が策定され、床上浸水ゼロへの道筋が示されました。

さらに、昨年8月には、武雄市総合治水計画を策定し、国の直轄事業をはじめ、国や県と一体となった流域治水対策を着実に推進しております。

今後の具体的な取組といたしまして、国の直轄事業については、橘地区の六角川洪水調整池

の整備に向けた河川改修に加え、板橋地区の遊水地整備に向け、現地調査や地元住民の皆様との意見交換を積極的に実施し、国による早期の事業化を目指してまいります。

また、朝日地区や北方地区においては、堤防整備等に向けた地元との意見交換を進めてまいります。

本市の施策としては、橘町東川流域の高頻度洪水対策に着手し、道路や農地の冠水被害の軽減を図ってまいります。

また、市街地の浸水被害対策として、市役所東側にある一の坪公園において、約 220 トンの雨水を一時的に貯留できる地下貯留槽の整備を進めており、今月末の完成を予定しております。

加えて、中町地区に側溝を新たに整備することで排水能力の向上を図るとともに、事業者の皆様へ止水板設置への補助を行い、浸水被害の軽減を図ってまいります。

さらには、市河川の改修や遊水公園の整備、ため池の事前放流等、国や県、地域と連携し、流域治水を着実に推進してまいります。

雨期を前に、5月28日から新たな防災気象情報の運用が開始されました。

新たな気象情報は、大雨や河川氾濫等の災害に対して、5段階の警戒レベルとともに発表されます。

これにより、市民の皆様にとって、今、自身が置かれている状況と次に取るべき避難行動が分かりやすくなります。

また、令和3年8月豪雨時の教訓から避難経路の情報が不足していた課題に対応すべく、必要な情報を素早く把握して命を守る行動に移せるよう、公開型GIS「たけおデジタルマップ」の機能を拡充します。

これにより、外国人や高齢者、子供にも分かりやすい多言語及びやさしい日本語によるハザードマップの公開や、災害時における、通行止めや土砂崩れ情報の迅速な公開が可能となります。

加えて、平時からの備えに役立つマイ・ハザードマップの印刷機能を新たに追加し、市民の皆様への防災意識の向上につなげてまいります。

さらには、災害時の避難生活において、キッチンカーを活用し、温かい食事を新たに提供できるよう、事業者との協定を締結します。

あわせて、ペット避難についても、受入れ態勢の充実を図ってまいります。

地域事業者との連携を通じ、避難環境の改善を進めることで、市民の命を守る地域防災力をより一層強化してまいります。

教育や医療福祉へのデジタル活用についてであります。

次世代を見据えた教育環境の整備と医療福祉サービスの向上に向けて、デジタル技術の活用は不可欠であります。

本市では、これまで他市町に先駆けて教育へのデジタル活用に取り組んでまいりました。

これまでの生成A Iパイロット校事業の成果を踏まえ、本年度は、対象校を昨年度の2校から4校へ拡大し、生成A Iの校務への活用を進めてまいります。

教材や文書作成等、様々な場面で生成A Iを活用して校務の効率化を図り、教職員の働き方改革を推進するとともに、先生が子供たち一人一人と向き合う時間を増やすことで、教育の質のさらなる向上につなげてまいります。

これらの取組を通じ、これからも本市が教育改革のトップランナーとして、教育大綱の基本理念に掲げる「もっと、こどもまんなか」の教育の実現と次の時代を見据えた学校づくりを目指してまいります。

本市におけるマイナンバーカードの保有率は、8割を超えております。

また、医療機関におけるマイナ保険証の利用について、国民健康保険においては、6割を超える利用率です。

マイナ保険証のデジタル基盤を生かし、子供や障がい者を対象とした医療費助成の資格確認ができるようシステム改修を行います。

これにより、医療機関の窓口では、医療費助成の手続に必要な紙の受給者証の提示が不要となり、マイナ保険証1枚で受診が可能となります。

デジタル技術の活用により受診時の手間や負担を減らし、利便性を向上させるとともに、安心して過ごせる社会の実現を目指してまいります。

産業の持続的な発展についてであります。

基幹産業である農業を維持、発展させていくためには、強い農業経営への転換が必要であります。

県と連携して農業の収益性向上につながる園芸用ハウスの整備や省力化機械の導入を積極的に支援することで、生産基盤のさらなる強化と地域農業の活性化を図ってまいります。

競輪事業については、本年度、過去最高額となる10億5000万円の一般会計繰り出しを見込んでおります。

この財源は、地域福祉や教育環境の充実をはじめ、市民サービスの維持、向上のために有効に活用してまいります。

今後は、選手宿舎等の建替えを計画的に進めることで、施設の維持費削減を図るとともに、より効率的な運営体制への見直しを進め、将来にわたって安定的な財源を確保してまいります。

大学を活かしたまちづくりについてであります。

この4月に、市内初の4年制大学である武雄アジア大学が開学し、新たな学生を地域に迎えることができました。

入学者数については定員には至っていないものの、入学した学生はいずれも期待に胸を膨ら

ませ、目を輝かせながら新たな学びに挑戦しようという意欲にあふれております。

その姿から、これからの大学と地域が未来に向けてつながる大きな可能性を感じております。新たに武雄で学び、生活を始めた学生が安心して充実した生活を送ることができるよう、市民一体となって温かく迎えてまいります。

開学以降、市民大学や各種団体との連携、さらには地域の方々との関わりを通じて、市民と大学との新しいつながりが次々と生まれています。

例えば、小学生が大学施設を見学し、「大学とは、自分が学びたいことを主体的に学ぶ場である」ということに触れる機会が生まれています。

子供たちにとって、大学を身近に感じながら、学びの連続性を実感し、自らの将来の道筋を描くきっかけとなっております。

また、大学の教授が講師となり、市民の皆さんにまちづくりについての講演を行うなど、大学の知見が地域へ還元される動きも始まっております。

さらに、様々な団体が大学施設を活用しながら、「大学と連携して何か新しいことができないか」と考える動きも広がっております。

これらは、市内に学びの拠点ができただからこそ生まれた新たなつながりや可能性であり、本市のまちの活性化に向けて大変意義深いものであります。

大学ができれば、大学の風が吹く。

今後も、大学と市民や地域、企業等との連携をより一層深め、大学が持つ知見や若者の活力を生かして、まちの活性化を図るとともに、若者に選ばれる持続可能なまちづくりを推進してまいります。

以上、市民の皆様命と暮らしを守るとともに、未来への希望をつくるための各種政策に全力で取り組んでまいりますので、議員各位の御理解・御協力を切にお願い申し上げまして、私の提案事項説明とさせていただきます。

本議会もどうぞよろしくお願いいたします。

議長／山崎副市長

山崎副市長／おはようございます。

今定例会に提出しております議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず、事件議案1件について御説明いたします。

「財産の取得について」は、武雄市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものです。

次に、予算議案について御説明いたします。

今回の補正は、国及び県の補助金による事業の追加など、当初予算編成後に生じた事由によ

り、速やかに対応すべき経費について補正をお願いしております。

令和8年度武雄市一般会計補正予算（第2回）では、国や県の補助金等を活用した事業として、PMH連携に係る医療費助成システム改修事業負担金、公開型及び統合型GIS機能拡充事業に要する経費、生成AIパイロット校事業に要する経費などを計上しております。

市単独事業につきましては、佐賀ブルーナースプレシーズンマッチに要する経費などを計上しております。

その他の補正予算では、2件の特別会計と1件の公営企業会計の予算を提出しております。

その他、「令和7年度武雄市一般会計継続費繰越計算書の報告について」など8件の報告をいたしております。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／日程第5．教育長の教育に関する報告を求めます。

松尾教育長

松尾教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

まず、学校教育について申し上げます。

武雄市では、急激なICT化や人口減少、不安定な社会情勢といった変化に対応し、子供たちが将来必要とする力を育むため、教育DXや英語力向上事業など、多様な取組を進めてきました。

今年度は、昨年度策定した学校教育ビジョン「これからの学校の話をしよう」を指針とし、これまでの歩みを止めることなく、昨年度からの取組がさらに充実し発展するよう、推進してまいります。

部活動の地域展開につきましては、地域クラブ活動が開始されて2年目を迎えます。

各競技において、月に4回、1回3時間の計画で、生徒たちが市内の中学校やスポーツ施設に集まり、専門的な指導を受けながら共に練習に励む体制を継続し、より多くの生徒たちが活動できる環境を整えます。

また、今年度は文部科学省の生成AIパイロット校として、御船が丘小学校、山内西小学校、山内中学校、北方中学校の4校が指定を受けました。

併せて、武雄市研究指定事業として、東川登小学校、橘小学校、山内中学校、北方中学校の4校を指定し、実践的な研究を深化させてまいります。

これらの指定校以外の全小中学校も協力校として連携し、得られた研究成果を武雄市内全ての学校へ普及・展開させてまいります。

次に、子育てについて申し上げます。

公設の放課後児童クラブ、13 児童クラブの運営につきましては、昨年度から運営を民間に委託し、事業を行っております。

引き続き利用児童及び保護者の皆様との信頼関係を築きながら、よりよい放課後児童クラブ運営に努めてまいります。

子育て総合支援センターでは、5月23日に「おひさまフェスタ」を開催しました。

段ボールを使った手作り大型遊具コーナーや赤ちゃんコーナー、乳幼児服のお譲りなどもあり、子育ての楽しさを感じられる時間となりました。

市内の子育て支援者や、中・高生のボランティアの協力を得て、多くの来場者でにぎわいました。

次に、文化について申し上げます。

5月2日から5月31日まで、武雄市図書館・歴史資料館において、古い時代から人間のパートナーだった馬に関する資料を紹介する企画展「馬と生きる」を開催し、多くの方に御来場いただきました。

5月31日には新文化交流施設オープンのイベントとして、第44回たけお音楽祭を開催し、幅広い年代の方に出演いただくとともに、多くの方に御来場いただきました。

文化会館大ホールにつきましては、3月19日と5月19日に武雄市文化施設のあり方検討委員会を開催し、大ホールを含めた市内文化施設のあり方と今後の文化振興について、将来を見据えた検討を行っています。

以上、教育に関する報告をいたしました。

なお、3月から5月までの3か月間に実施いたしました主な行事等につきましては、別紙一覧表にお示ししたとおりであります。

最後になりますが、今後とも、さらなる御指導、御鞭撻をお願い申し上げまして、教育に関する報告とさせていただきます。

議長／以上で本日の日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。